

相談室の窓から

学生相談室
相談員
経営学部教授

清水 一之

学生相談室の進化： 相談件数の増加と双方向性の重要性

「相談室の窓から」を執筆するにあたり、学生相談員の役割とその歴史について調査しました。その結果、以下の2つのポイントが特に重要だと考えました。1つ目は、相談件数です。2011年から2022年の12年間で、明治大学の相談件数は約3000件から約9000件へと3倍に増加しました。この3倍となった件数に対応するため、大学はさまざまな相談内容に対応する窓口の設置など、制度を強化しました。但し、明治大学は学生と教職員を合わせると約4万人が在籍する大組織なので、その中で人間関係は複雑で、単純な対応だけでは解決できない問題も存在しています。

2つ目の観点は、大組織である大学がステークホルダーに与える影響です。一つの目的を持った共同体は、伝統的な構造と自由な精神を併せ持ち、公平、公正で民主的な学生対応と社会からの要求に答えなければなりません。ここで学生相談室は重要な役割を果たします。教職員は大学から多くを学び、学生対応に謙

虚に取り組むことが求められますが、教育効果を優先する傾向があります。ここに学生相談室がステークホルダーとの多様な問題に対応できる可能性を持っているのです。

最後に私の実体験ですが、自分の学生時代は本当に先生から多くの指針を与えていただきました。そのため、私にとっての大学とは、講義の内容はもちろん重要でしたが、それ以上に教職員が学生をどのように指導するかに対する関心が高かったと思い返されます。大学での学習は双方向性を持つべきだとはいえ、どうしても一方向性になる傾向にあります。現在は立場が逆になりましたが、私が学生時代に望んでいたような双方向性のある大学にはまだなっていないかもしれません。

そう考えると、学生相談件数の増加は、我々教職員と学生との間の双方向性の欠如を補う一助となっているかもしれません。その一翼を担えるよう、今後もポジティブに講義と学生相談に励もうと思います。

学生相談室について

- 駿河台キャンパス 大会館2階 TEL:03-3296-4217
- 生田キャンパス 中央校舎2階 TEL:044-934-7619
- 和泉キャンパス 第一校舎2階 TEL:03-5300-1178
- 中野キャンパス 低層棟4階 TEL:03-5343-8080

開室時間 月～金 10:00～17:00

- 学生相談室では、対面相談・オンライン相談(学生限定)・電話相談を行います。
- 相談は電話、または、Oh-o!Meiji アンケート「【学生相談室】相談申込フォーム」にてお申し込みください。
- 予約状況などから、面談が申込翌日以降になる場合もありますので、ご了承ください。
- 土曜日(9:00～12:00)に面談をご希望の場合は、事前にご相談ください。
- 夏季休業期間中、入試期間中など、開室時間を変更する場合がありますので、掲示、ホームページでご確認ください。

<https://www.meiji.ac.jp/soudan/>

